

株式会社デンソーエアシステムズ

所在地

安城市桜井町稲荷西38番地

事業内容

カーエアコンシステムを構成するホース・配管などの開発・製造および販売



雇用状況

従業員数：1,106名
うち障害者：22名

身体	知的	精神
13名	5名	4名

(令和6年6月1日現在)

障害者の担当業務

製品の組付け作業（カーエアコン配管への部品組付け、最終形状チェック作業）

業務切り出しの工夫、苦労したこと

業務切り出しにおいて、できるだけ同じ品番の製品を固めるようにし、細かな作業切替がない反復作業となる工程にしました。また、担当業務の難易度を下げることせず、標準作業組合せ表・作業要領書に基づき、1人分の作業を半分に分けて2倍の時間をかけて担当業務を指導するという工夫をしました。

この結果、しっかりと作業に慣れることが出来、都度作業を止めて教えるということを繰り返すことは少なくなりました。但し、生産量の増減により、同じ品番の製品だけでは仕事なくなってしまうことも危惧されるため、本人の焦りや負担に繋がらないよう、少しずつ別の工程での作業も実施しています。

業務における配慮は、作業する位置を管理者の目の届く範囲とし、ご本人が困った時に上司へ声を掛けやすく、上司も作業の不調を気づけるようにしました。

また、初期段階では毎日こまめな声掛けをし、不明点や曖昧な点について、すぐ聞き取りができるよう努めました。

社内の理解を得るための取り組み

受け入れ部署以外にも自分事と意識していただくため、トップ層から順に、出前講座を実施し、障害に対する理解活動を実施してきました。

受入部署との連携としては、本人からの要望もあり、障害特性や指導時の注意点を受入部署のメンバーに事前に説明しました。その上で、何か気になることがあれば、本人ではなく、管理者に言っていただくよう予め依頼しました。従来より、支援学校・聾学校からの見学・実習受け入れを行い、障害者と働くことに対する理解を深めるようにしています。

支援機関との連携

困りごとの発生時、社内だけで解決を図ると良い方向には向かないため、障害者就業・生活支援センターと早めに相談・ケース会議を開くようにしています。支援学校の卒業生の場合は、学校にも連絡をとり、必要であればケース会議にご参加いただいています。今回の方については、職業カウンセラーの方をはじめ、ジョブコーチにも積極的に介入していただき、双方の相談先の選択肢を増やすことができたと感じています。障害者にとっても、共に働く社員にとってもお互いの思いがすれ違わないように、支援機関との面談時には受入部署の担当者にも同席してもらい、双方の思いを聞きながら不安の解消を行っています。

